

# 新建福岡・NOW

第32号 2025.03.11

発行元  
新建築家技術者集団  
福岡支部事務局  
〒815-0041  
福岡市南区野間 3-9-20-4F  
[ケイ・プラッツ内]  
Tel/Fax 092-541-8128  
HP : shinken-fukuoka.net

10/22

## 新新建福岡「2024年度支部総会」開催しました

福岡支部の総会を2024年10月22日(火)アミカスにて、参加18名、委任状15名/計33名で、会員の過半数以上に開催されました。(巻口さん、議長ありがとうございました。)

まずは2024年度の活動を振り返り「仕事を語る会」の第8回川崎氏、第9回道下氏で行ったこと。「新建学校」を東京支部の小林氏をお招きし、アクロスで2回、Zoomで4回行ったこと。「幹事会」は毎月行ったこと、機関紙はNo.29,30号の2回を発行したことなどの報告がありました。

2024年度決算報告では、未収金なども無く健全な支部運営がなされている報告がありました。(会計の原田氏のご尽力に感謝します。)

久しぶりに開催された8月末の全国企画の「建まちセミナー」は、残念ながら台風で中止となってしまいましたが、Zoom開催によって参加も出来ました。会計の健全化によって全国企画へは多くの会員の方の参加を支援する様にしようとなりました。

会員の活動として、特に大牟田市庁舎保存・利活用運動に関して、新谷氏や古川氏の取組みも報告されましたが、継続的な活動の重要性を考えさせられています。

鳥居、吉田氏などの弁護士を中心とした「欠陥住宅ネット」との勉強会への積極的な参加なども、近年の支部の特徴的な活動になっています。

次年度への課題としては、中断している「建まち相談室」のサポートとして、渋田氏より「建築カンファレンスルーム」の企画も提案され、早期の開催を準備しています。

また支部HPの更新も外部委託し、積極的な活用を図れる様に準備しています。

福岡支部の特徴として、誰でも参加できる幹事会を継続して、議長(司会)も交代制としていますので、今後次世代の若い役員への継承ができる様にしていく必要もあります。

終了後はいつもの様に賑やかな懇親会でした。全国的には会員減少が著しい状況で、福岡支部も厳しい状況を迎える可能性もありますが、次の2025年度の活発な活動に向けて、前向きな討議のできた支部総会となりました。  
(報告・鹿瀬島)

### @アミカス会議室





## 「新建 NOW リレーエッセイ」 Vol.006

支部総会に出席していた 介護福祉士の 大野裕和さんに、お願いしました  
(30号のリレーエッセイ・大野幸代さんとご夫婦です)



特別養護老人ホームすこやかで介護福祉士をしている大野です。  
今年で10年目です。(今まで長く勤めた事がなかったので自分でもビックリ  
です🤩)。今回は、私がどの様な仕事を行っているか具体的に、話したいと  
思います。

私が働いている所は、ユニット型と言って、特徴として入居者様の居室(部  
屋)は個室です。

入居条件は、要介護3以上ですが、私の職場の入居者様は要介護4や5の方  
が殆どです。ご本人様は、寝たきりの方や、人の手を借りると生活が出来る方  
など、様々です。

介護には、食事や排泄、洋服の着脱、入浴等がありますが、ご本人様が一人では出来ないところを、私  
達が手伝います。

### <日中の主なお仕事の流れ>

介護の仕事では、仕事に入る前に、前日の入居者様の体調の変化や状態を把握する為、ケア記録に  
目を必ず通します。

入居者様は、20人居ますが、1ユニットが10人なので、1番地と4番地に分かれるので最低でも、10人  
の入居者様の体調変化や状態を、把握しなければなりません。(当施設では、4階建てで、2階から始まり  
2丁目、3丁目、4丁目と呼んでおります)。昼間の仕事引継ぎとして、夜勤者からの申し送り(〇〇様は、  
血圧が高かった、〇〇様は熱があった等)を聞き、それから、日中の仕事が始まります。

朝、ベッドから自力で起き上がれない方は、介助を行いパジャマから洋服へ着替え、車椅子に移乗しま  
す。トイレにお連れし、手摺を持って頂き、ズボンの上げ下げ介助を行います。その様な方は、自力で手を  
洗ったり顔を拭く事も、出来ないなので、それらも介助します。

その後、リビングへお連れし、朝食を声掛けしながらスプーンで1口分ずつすくい、入居者様の口元に  
運び、召し上がって頂きます。咀嚼や嚥下が、上手く出来ない方は、状態を見ながら介助を行っています。  
途中、食べた物が気管に入ってしまうと誤嚥しますので、注意しながら食事介助は行います。

食事後は、居室にある洗面所で口腔ケアを行い、口腔内に残渣物が無いか確認し、うがいをして頂き  
ます。

次に、排泄介助を行います。

入居者様1人1人違いますが、トイレ介助の方もいれば、オムツ交換を行う方、様々です。排尿や排便等  
が出れば、排尿や排便等の処理も、行います。

入浴には、2つの種類があります。「個浴」と「特浴」です。

「個浴」は、介護スタッフが1人で、入居者様の身体を洗髪や洗身介助を行います。その際に、お湯の温  
度が適温なのか、どうかを必ず確認して行っています。ご自身で、出来るところはやって頂きますが、出来  
ないところは、職員が介助します。浴槽を跨ぐ事が、出来なければリフトを使って、湯船に浸かります。余り  
浸かり過ぎると、のぼせたりするので、状態を確認しながら注意しています。

「特浴」は、自力での入浴が困難な方でも、安全に入浴出来る様にする事、身体の麻痺や拘縮が強く、  
立ったり座ったりが、難しい方でも入浴が出来る事が出来ます。

あとは、入居者様のフルバイタル=血圧、脈、熱、酸素濃度を測定、日中の様子等をパソコンに入力しま  
す。これが、日中の主な仕事の流れです。



大好きな BBQ

一番注意が必要なのが、入居者様の服薬です。

1人1人の薬が違うので、細心の注意をしながら服用を行っています。一步間違えると、命に関わるので、服薬管理には、常に緊張を持って業務に当たります。

夜間の仕事は、日中の仕事と基本的に、余り変わりありませんが、職員の数が大きく違います。日中は、職員が早出、日勤、遅出が2人の計4人に対して、夜間は、入居者様20人に夜勤者1人での対応になります。

以上が、介護の仕事内容です。

話は変わりますが、皆さん覚えていますか？ 新型コロナウイルスについてです。

初めに感染した中国の武漢市から、始まり世界各国で感染が広まり、1日に死者が何百万人も出て、世界が大混乱し、毎日ニュース速報は、新型コロナウイルス関連の話ばかりでした。

私が勤めている介護施設でも、新型コロナウイルスが流行しました。防護服や N95 のマスク、フェイスシールド、ゴーグル、手袋を装着して仕事したのを覚えています。それらの備品は、需要はあっても供給が間に合っておらず大変でした。

実は、私は一度だけ新型コロナウイルスにかかりました。症状として、高熱が出て、下がっては上がりの繰り返しです。喉が痛く食べ物が、喉を通りませんでした。一週間くらい殆ど飲み食いしていなかったお陰で、体重が3kg減りました(笑)。妻の助けもあり、回復しましたが、その後、妻も感染してしまいました(泣)

世界の国々や日本国内でも、対応が様々でした。マスクは常に使用し、テーブルの真ん中に透明の亚克力板を付け、飛沫感染しない様に対策をしたり、人混みの中には行かない等、色々制限がありストレスが溜まりました。今でこそ、新型コロナウイルス関連のニュースが出ていませんが、また何処かで流行しているかも? と思い、私は極力、マスクを手放さない様にしております。

いつの日か、新薬が開発され、「風邪薬の様な薬が出てくれば良いな!!」と思います。

皆様が、これからも健康で有ります様に 😊

介護福祉士 大野裕和

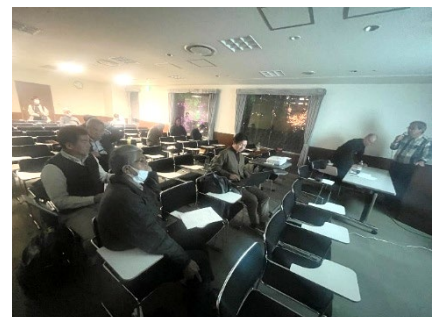
## 新建学校「開かれゆく機能の100年史－20世紀の建築空間遺産講座」開催しました

この講座では建築細部の解説の中で、20世紀前半のモダニズム建築と、それ以降の建築にも共通するテーマを感じられました。それは建築の機能の展開であり、地域・歴史・環境等への適応といえます。多様な変遷に見える各時代の建築形態にも、人間と建築が結ぶ機能的関係が変容する過程を見ることができます。

印象的だったのは第1回のウィーン郵便貯金局とロビー邸です。これらはそれぞれ開放性と機能性を備え、20世紀初頭に新しく時代を作っていく市民層の生活環境に適応する建築に見えました。

その機能性は20世紀後半では、人間のコミュニティや地域・歴史性と結びつくものとして建築されていくようでした。例えば第3回のエコノミスト・ビル、第5回のドイツ国会議事堂では効率的な配置に留まらず、地域景観との関係や歴史的観点が機能に組み合わせられる様がよく分かりました。

人間とそのコミュニティ・歴史等との関係性を機能の中に内包しようとする試みが、作品のディテールを読み解く小林さんの解説から感じられた講座でした。(報告：笹野正和)





## —溪流のフライフィッシング—

元釣り師 井上幸夫 〈(株) 幸建築&環境設計〉

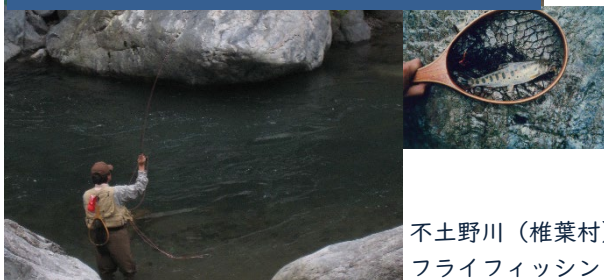
### ●きっかけは三里河原の大ヤマメ

見上げると真夏の青空、周囲には原生林が広がり、その間にのびやかに溪流が流れている。ここは祝子川(ホウリガワ)の源流部で登山口から3時間ほど登って来た場所だ。大崩山に登ろうと初めてのルートを登ってきた。一休みしたいところで出会ったのがこの河原だった。山地図には三里河原とある。

源流部とは思えないほど川幅は広く、澄んだ水が巨大な花崗岩の間をゆったりと流れている。水流は生き生きとして艶があり、疲れたからだをいやしてくれた。岩場に腰かけ川面をのぞくと大きなヤマメ(山女魚)がゆうゆうと泳いでいる。ときに原生林を吹き抜けて来る風で川面はゆらぎ、一瞬魚影が消える。山頂を目指すのはやめにして、この美しい河原でのんびりとヤマメを眺めて過ごすことにした。今から30年ほど前のことである。



祝子川：釣り親父と泳ぐ息子



不土野川(椎葉村)：  
フライフィッシング

### ●溪流のフライフィッシングは面白い

三里河原は雄大で美しく生命の気配が充満していた。生き生きとした溪流を丸ごと味わいたいと思い人生初の釣りを始めた。伝統的な餌釣りから始め、フライフィッシングに行き着いた。この釣りは毛ばりを流して魚を狙うもので、英国で誕生し、米国で発展した。ウキを静かに見つめる釣りではなく、魚を求めて川を登って釣り歩く。中でも水面に浮かせる毛ばり(ドライフライ)を流す釣りスタイルが性

に合った。うまく流れてくれるとヤマメは無邪気に毛ばりに飛びついて来る。魚と顔が見えてから反射的に竿を跳ね上げると魚の躍動が釣り糸を通じて伝わる。岸に寄せ、ネットに取り込み、美しい姿をほれぼれと眺め、感謝しつつリリースする。森の溪流に立ちこんでの釣りは新鮮に面白くて、すぐに病みつきになった。

釣るためには研究が必要だ。その一つが毛ばり(フライ)を巻くこと。ヤマメはカゲロウ、トビケラ、カワゲラなどの水生昆虫を主食とする。幼虫、サナギ、成虫と変態する。その姿に合わせて多種多様なフライが考案されている。釣れそうで巻きやすそうな毛ばりを老眼を酷使しながら巻く。二つ目はフライを飛ばすための竿の振り方(キャストイング)。1グラムもない軽い毛ばりを遠くにかつ正確に狙ったところに飛ばすのがこの釣りのキモ。芝生の公園や近くの川で練習する。そしてようやく溪流での実釣。これぞという毛ばりを選び出し、川面に流す。季節、時間帯、その日の天気で好みの虫が変わる。食べたくないものは完ぺきに無視される。マッチすると追いかけて来る。美しい森の中で気難しい美魚とのやり取りを楽しむ。事前準備が長くて面倒な手間のかかる釣りなのだが、ストレスの多い設計屋にはそれが楽しかった。

釣りを始めて3年目のころだった。初夏の夕暮れに竿を振っていると川面からもやもやと湯気が湧き出してきた。久住山ろくの溪流だった。よく見ると、それは湯気ではなく、カゲロウが次から次に羽化していく姿だった。水面をめざしたサナギは水面で脱皮して垂成虫になる。人の目には水面からふわりと湧いてきたように見える不思議な景色だ。バシャンバシャンとヤマメたちは大量発生した虫に襲いかかる。釣り師は今がチャンスと慌てふためき、目の前のカゲロウに似た毛ばりに結び直す。暗がりに老眼に手を焼き、何とか結び直したころには・・・静寂が戻っている。今日の釣りは終わり。それは束の間、溪流を取りまく環境がひとつながりの生き物になった瞬間だった。魚は釣れなかったが、その場面に居合わせる事ができた幸福感は今でも忘れない。釣りを始めて良かった。

## ●釣れない日にレーモンド建築に出会う

日之影川で釣りをしたことがある。あまりに釣れないので、源流まで登って行った。そこで出くわしたのが「英国館」だった。英国人の貿易商 E・H・ハンターは源流部の見立(ミタテ)で錫鉱山を経営した。1926年(昭和元年)には英国から招いた8人の鉱山技師のために山小屋風洋館を建てた。素朴で簡素な切妻屋根に下見板張りの外観。居間には丸太の小屋組を露わした勾配天井に連窓の障子が鮮やかだ。案内板には「当時の日本の洋風建築としては珍しいレイモンド建築様式が用いられ、丸太材や幅の広い一枚板を使用するなど木の魅力を十分に活かした構造である。」とある。えっ、宮崎の山奥にあのレーモンド? レーモンドは帝国ホテルの工事現場を離れ、1922年に東京で事務所を開設している。初期の木造建築では1928年の中禅寺湖畔のイタリア大使館別館、1933年の旧軽井沢の聖パウロ教会と「軽井沢の夏の家」が有名だ。この時期にレーモンド独特の丸太の木造スタイルが出来上がった。英国館はその前段階の習作のように見えた。

2001年に国指定登録有形文化財に指定され一般公開されている。鉱山を記念した展示施設には鉱物の展示や当時の鉱山風景の写真が並べてある。驚くのは彼らが使ったフライフィッシングの竿(ロッド)とリールにフライが展示されていることだ。やはり英国人には釣りが欠かせなかったのですね。昭和初期にはとんでもなく秘境であった筈。でも釣り師にとっては天国だったのかもしれない。毎朝、毎夕フライフィッシングを楽しんだ姿が目浮かぶ。レーモンド建築をめぐりにフライフィッシングとは相当にうらやましい。



英国館 外観



英国館 居間



英国館 フライの展示



イタリア大使館



軽井沢夏の家

## ●季節を楽しむ

渓流のヤマメ釣りの1年は3月1日の解禁から始まる。早春の山里には梅の花が咲き、渓流の河原にはネコヤナギの穂状の銀色の花が咲く。森の木々は落葉したままの冬姿で寂しい。水温1度とかの渓流ではヤマメの活性は低く、深い淵に潜んで動かない。4月になると雑木の山は黄緑色に萌え始める。フジが紫色の花を咲かせるころには虫たちも元気づき、いよいよ毛ばりのシーズンに入る。英語でカゲロウは mayfly、5月の虫だ。カゲロウの毛ばりは軽やかで気持ち良い。初夏にかけて山の緑が深くなると、ヤマメたちは早瀬にも進出する。活性が高まり、下手な釣り師とも遊んでくれる。盛夏、岸部のネムノキがピンク色の花を咲かせるころにはヤマメも避暑のために上流に向かう。三里河原で大ヤマメに出会えたのがこの時期だった。この季節、蟻やバツタもエサとなる。黒光りするアントの毛ばりはかわいらしい。初秋には産卵期に向けて体力をつけるためにエサを追う。釣り師も10月からの禁漁期を前にして、名残惜しく釣りに励む。禁漁になると来シーズンを楽しみに毛ばりを巻く。釣り師の1年は自然の移ろいに合わせ、季節を楽しむように変化していく。自然はいつもあるがままの姿で迎えてくれる。都会の日常をしょい込んだ釣り師にはうれしい。山と緑を愛でる釣り師は渓流を味わいながら1年を過ごしていく。そんな渓流の釣りは飽きずに楽しい。実に楽しかった。

開高健が「オーパ!」に引用した中国古諺は間違いではないようだ。

「永遠に、幸せになりたかったら釣りを覚えなさい」

## 新建福岡のあたらしい取り組み 第1回「カンファレンスルーム」開催

### 【カンファレンスルーム開催の趣旨】

日頃困っていること、悩んでいることの題材をいただき、それぞれ専門家のお知恵をいただき皆さんでよりよい方向性を見だし、相談者にアドバイスをいたしかつ参加の皆さんの学びにもなる。



#### 今回のテーマは『擁壁』

参加者：ZOOM（新建 13 名+相談者 1 名）

相談者：筑紫野市在住 Y さん

進行：渋谷さん



渋谷さんの司会進行にて ZOOM 会議がはじめられた。

カンファレンスルームの趣旨説明のあと今回の相談内容の説明が渋谷さんから述べられました。

#### ●相談内容

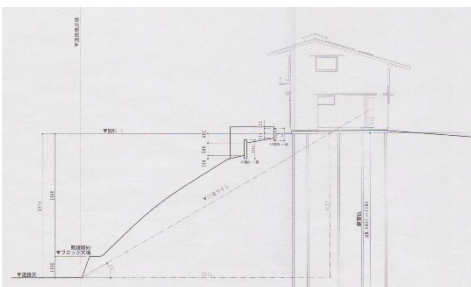
自宅の擁壁が、地震や台風、大雨の際に壊れそうで不安、既にブロックがズレており積み方にも不安

#### ●相談者の希望

- ・コストをかけずに可能な補修方法。
- ・住居が崖の上であり、目隠しとして植栽は残したい。
- ・年に数回コストをかけて除草作業をしているので雑草が生えないようにしたい。

渋谷さんから現地の問題のブロック積みの写真と家の建築断面図等の説明が有りました。

今後、資料情報は相談者の許可が有れば事前に ZOOM 参加者に共有する方がよいと思いました。



今回のご相談の写真を見ると結構どこにでも有る様な急傾斜面です、しかも下の道路に面したブロック積み部分は積み込みの隙間にモルタル等が打って無く、既に隙間が出ている状況です。

状況としては一見して直ぐではなくても災害に関連する危険度がある様に感じられ構造の川崎さんをはじめ数人からブロック積み改修工事の必要性が語られました。

一例として山田さんから既存のブロック壁の隙間に上から碎石を落とし込んで改善をする方法や、鳥居さんからワイヤーとネット、間伐材でのり面に防御柵を構える方法などの紹介も有りました。

これに関しては高さ 3 メートルの防護柵の例では上手く行かなかった事例の紹介が鳥居さんからありました。

山田さんからは5年から10年は現状でも問題が無いのではないかのご意見も有りましたが、先では何がしかの改修は必要だと言う事で皆さんの意見は一致していたようです。  
また後半には中島さんから擁壁の上部部分の雨水など水を下の道路までルートを作り土に水が溜まらない方法なども出て来ました。

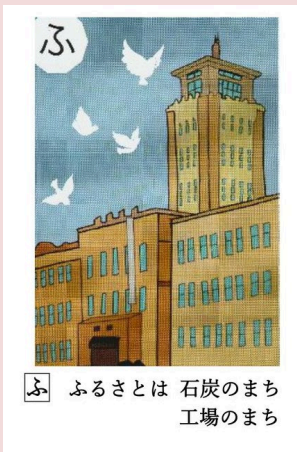
いずれにしても予算との費用対効果も有りますので相談者が今日のカンファレンスを参考にされて何がしかの対処をする糸口になると良いと思います。

法律の面からは、鳥居さんから土地を購入した時の不動産業者との契約書を見直すことで売買に何がしかの瑕疵があれば工事費の一部でも請求できる可能性がないのかのアドバイスもいただきました。  
鳥居さんは、相談者から依頼が有れば今後も相談の窓口を開放して下さるとの事なので強い味方になる可能性も感じられました。

### 以下、私の感想になります。

- 不動産の売買は購入時に考えていなかった事や気づかなかったマイナス面が先で出てくる可能性もあり、建築・法律の両面で本当に相談ができる人が居ないと購入は極めて難しいと改めて思いました。
- 今回のご相談の家の建物の下には地盤強化として 9M~11M の杭を打って建てられています。建築素人の私からすると傾斜地の方に強化の予算を先に使う必要が無かったのか疑問として残っています。
- 今回カンファレンスに参加して建築は色々な要素が集まって成り立っていると再度、実感いたしました。普通の人、また建築を生業とする人が、どの様な悩み事を皆さん持っているのか、どこまでその悩み事をさらけ出すことができるのか今後のカンファレンスにも興味があります。

(報告：原田康幸)



## 大牟田市庁舎保存活動の近況報告

2024(令和 6)年 3 月に発足した大牟田市庁舎整備基本構想策定審議会は 6 回の会議を経て、大牟田市庁舎整備基本構想最終案が決定し、2025(令和 7)年 1 月 28 日に市長に答申されました。笹林公園に 9 階建、床面積 19,000 m<sup>2</sup>の庁舎を建てる計画です。今後、市議会議員の論議を経て、予算が通れば次のステップ「基本計画」に進みます。パブリックコメントでは事業費や規模を圧縮する多くの意見が寄せられたのですから、市に対して市民説明会の開催を求めたいと考えています。

パブコメについては「新庁舎については好意的な意見がある一方で、規模や事業費の大きいことに対する懸念、事業費圧縮を目的として市庁舎本館、統合で廃校となる学校、商業施設の活用の提案」があったことが審議会でも報告されました。6 回の審議会でも提出された資料と会議録は、すべてホームページで見ることができます。

市庁舎は当初の 85 億円、12,390 m<sup>2</sup>から、今回 150 数億円、19,000 m<sup>2</sup>に大幅に変わったのですから、当然、市民説明会を開き、事業費圧縮について市民の意見を聞くべきです。また、この経過を市民に知って貰うことも重要です。大牟田市庁舎本館は 2005(平成 17)年に国の登録有形文化財になりましたが、20 年経過した今、本館は保存・活用できるのか、民間活用不調で解体となるのか、まさに剣が峰に立っています。



4号特例縮小の法改正の施行が、2025年4月に迫っています。国交省から配布されたテキスト「改正建築基準法2階建ての木造戸建て住宅」から、「壁量基準」のポイントを挙げておきます

### ① 壁量基準の改正

4号より約1.4倍UP

#### ●仕様の実態に応じて必要壁量を算定します

従来は、いわゆる「軽い屋根」「重い屋根」といわれる2つの区分に応じて、地震力に対する必要壁量を算定していました。

改正後の壁量基準では、建築物の荷重の実態に応じて、算定式により、地震力に対する必要壁量を算定します。太陽光発電設備等を設置する場合は、その荷重を考慮します。

#### ●地震力に対する床面積あたりの必要壁量を算定するための支援ツールを活用できます

表3-2 地震力に対する床面積あたりの必要壁量を算定する2つの支援ツール

方法	概要
A 早見表	住宅の仕様等に対応した早見表の中から、計画している住宅の条件に適合する早見表を選択し、その表から床面積あたりの必要壁量を選択します。
B 表計算ツール	表計算プログラム上で、A 早見表よりも詳細な情報を、入力または選択することで、床面積あたりの必要壁量が自動計算されます。A 早見表よりも精緻な算定が可能です。

#### ●準耐力壁等を存在壁量に算入することができます

準耐力壁等（耐力壁としての仕様を満たしていないが、一定の耐力を期待できる壁）を存在壁量に算入することができます。

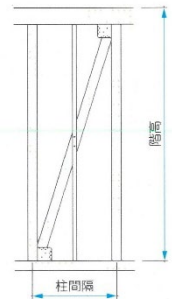


図 3-8 階高と柱間隔

添付されている図では横架材の  
天端間距離を“階高”としている

#### 存在壁量

##### 準耐力壁

← 壁量は算入可能

準耐力壁の種類と壁倍率は、昭56建告第1100号に示されています。  
準耐力壁等の壁量は、基本的に、各階・各方向の必要壁量の1/2以下の範囲内で、任意に算入することができます。

(注) 準耐力壁等の壁量が必要壁量の1/2を超える場合全ての準耐力壁の柱折損等の脆性破壊が生じない事を確認する必要があります。その方法は未定(Q&A)

準耐力壁を多く考慮すると改修時に障害になるかも・・・

#### 存在壁量

##### 耐力壁

計算式自体は変わっていない

階高が3.2mを超える場合には、筋かいの壁倍率に、次の低減係数(α<sub>h</sub>)を乗じます。

$$\text{低減係数}(\alpha_h) = 3.5 \times \frac{\text{柱間隔}}{\text{階高}} \quad [\text{昭56建告第1100号}]$$

階高が3.2mを超える場合は低減係数 α<sub>h</sub> を乗じる  
(α<sub>h</sub> ≤ 1.0)



### 第5回山歩きレク～糸島 十坊山～ 4月4日(金)に開催決定!

なんと2019年の三池山以来、5年ぶりの開催です。これまでと同じく各自おかずを1品ずつ持ち寄り、寄って山頂でランチパーティーを行います。

9:30 登山口集合(福吉駅の場合は9:00集合)

下山後は、希望者でマムシ温泉に寄ります。参加希望の方は、事務局までご連絡ください。

#### 編集後記

新建NOW No.10の担当になってから早7年、No.20に引き続き今回三度目の担当になり、HPにUPされた記事だけを読んでも、月日の経過を感じます。今回は簡単!と思ったら大きな間違いでした。寄稿者が偏らないようにお願いするつもりが、結局は断られ続け、最終的には心優しい方々がお引受けいただきました。さあご覧ください!月成さんの編集で素敵に仕上がりました。(原稿とりまとめ: 渋田 レイアウト: 月成)